ほろのべの窓

2024 9月号

幌延町広報誌 No.719

注目 第51回ほろのべ名林公園まつり特集……4・5ページ

今月の表紙 8月10日(土)、8月11日(日)に開催された「第51回ほろのべ名林公園まつり」の盆踊り大会・仮装盆踊り大会の様子です。参加された方々は思い思いの仮装で、会場を華やかに彩りました。

幌延町ウェブサイト https://www.town.horonobe.jp/

９月は防災の日・防災週間です

毎年9月1日は防災の日です。また、防災の日を含む8月30日から9月5日までは防災週間です。1923年9月1日に発生した関東大震災（死者・行方不明者10万5千人）にちなんだ日であり、例年8月30日から9月1日付近は台風の襲来が多いとされる二百十日にあたるため、災害への備えを怠らないように、との戒めも込められています。

地域防災マネージャー 長尾 俊

防災の日・防災週間に個人でできる防災対策を考えてみましょう

1　ハザードマップを確認する

町HPから「幌延町防災ハザードマップ」をご確認ください。洪水、土砂災害及び津波等の災害リスクがわかります。自分の住む家はもちろん、学校、職場、親戚・知人宅及びよく行くお店等いつも通っている道路はどうでしょうか？

幌延町防災ハザードマップ

2　どこに避難しますか？

避難所は浸水が想定される地域以外にありますか？特に、問寒別地区は市街地をはじめ浸水想定区域に避難所が存在しており、避難所とならない可能性があります。洪水の際の避難所を確認しましょう。また、避難を検討する場所は「避難所」だけではありません。例えば、浸水想定区域外の親戚・知人宅、ホテル、勤務先及び車中泊なども検討しましょう。

3　いつ避難しますか？

地震以外の風水害及び土砂災害等の気象災害は突然に起こることではありません。注意報⇒警報⇒特別警報と災害の恐れが大きくなるにしたがって、段階的に発表されます。注意報が発表されたら避難に備えて自らの避難行動を確認し、避難行動がいつでもできるよう準備を始めましょう。

4　情報を収集しましょう！

できる限り多くの手段を準備して正しい情報を集め、早めに行動すれば、大切な命や財産を守ることができます。停電や通信障害も予測して告知端末機、テレビ（ｄボタン）、ラジオ及びスマートフォンなどを準備しましょう。

5　災害時の連絡手段の確認

災害は、家族がバラバラにいるときに起きる可能性があります。災害時にどの親戚や知人に連絡をするか、また、どの連絡方法を利用するかを決めておきましょう。

安否確認には、災害時の通信混雑を避けながら連絡等をスムーズに行える災害伝言ダイヤル171等のサービスを利用できるよう体験利用を通して実際の使い方を覚えておきましょう。

災害用伝言ダイヤル	災害用伝言板	災害用伝言板（web171）
171をダイヤル	・NTT http://dengon.docomo.ne.jp/top.cg ・KDDI(au) http://dengon.ezweb.ne.jp/ ・ソフトバンク／ワイモバイル http://sengon.softbank.ne.jp/ ・楽天モバイル https://publicsafety.mobile.rakuten.co.jp/	https://www.web171.jp/

避難所と避難場所は違います

避難場所：洪水、火災及び津波等の危険が切迫した状態において生命の安全確保を目的に避難する場所

避 難 所：災害による被害を受けた人または被害を受ける可能性がある人が一定の期間避難生活を送る場所

7月31日（水）～8月2日（金）
令和6年度　エネルギー関連施設見学会（児童・生徒の部）を開催しました!
（広報・調査等交付金事業）

７月31日（水）から８月２日（金）にかけて、エネルギー関連施設見学会（幌延町・茨城県）を行い、小中学生19名（小学生12名、中学生７名）が参加しました。

１日目は、幌延深地層研究センター ゆめ地創館で施設見学を行い、センターで行われている深地層研究の内容について学んだほか、タブレットで地下研究施設を探検できる「深掘りサイエンスツアー」やクイズを通して楽しみながら理解を深めました。

２日目は、午前中に東海村の核燃料サイクル工学研究所、午後はつくば市の地質標本館とサイエンス・スクエアつくばを見学しました。

核燃料サイクル工学研究所では、ベントナイトを用いたアロマ石けんづくりなどの実験を行い、実際に体験しながらベントナイトの性質を学んだり、研究開発が行われている研究室を見学し、研究の内容について説明を受けました。

地質標本館では、地質に関する様々な情報がプロジェクションマッピングとして投影された日本列島の立体地質図や岩石、鉱物などといった多くの標本が展示されており、普段なかなか目にすることのできない数々の展示物に興味深々の様子でした。

サイエンス・スクエアつくばでは、産業技術総合研究所で行っている研究内容をパネルや解説画像で学んだほか、ロボットなどの実際の試作品に触れ、最先端の科学技術を身近に感じることができました。

参加した児童・生徒のみなさんは、本州の暑さに弱音を吐くことなく、各見学先の職員の方々の説明に耳を傾け、最後までしっかりと勉強していました。

今後も、今回の見学会の経験を活かし、幌延町で行われている深地層研究やエネルギーに関する知識を深めてほしいと思います。

▶地質標本館前で集合写真

▶ゆめ地創館

▶サイエンス・スクエアつくば

第51回 ほろのべ名林公園まつり

8/10（土）

日本野鳥の会ステージPR

ミニゲーム

笑ってどん！（手押し相撲）

幌延中学校吹奏楽部

ライブステージ

幌加内そばの里大使
上杉周大ライブ

幌延町観光大使
井上仁志ライブ

お笑いステージ

パーパー

どぶろっく

サロベツ太鼓

ものまねライブ

セニョール玉置

りんごちゃん

フレアバーテンディングステージ

8/11(日)

盆踊り大会

子ども盆踊り大会・仮装盆踊り大会

盆踊り大会・仮装盆踊り大会

仮装盆踊り大会（個人の部）優勝

子ども仮装盆踊り（団体の部）優勝

仮装盆踊り大会（団体の部）優勝

子ども仮装盆踊り（個人の部）優勝

幌延ど真ん中踊り

ミニゲーム

景品争奪大なわとび大会

賞金争奪綱引き大会

爆上戦隊ブンブンジャーショー

ほろのべ 北緯45度のまち
議会だより
第134号
●発行　北海道幌延町議会
●編集　議会報編集委員会
●電話　01632-5-1111
●FAX　01632-5-2971

主な内容

一般質問 …… 6～7
第４回幌延町議会定例会（抜粋） …… 7～8
第３回幌延町議会臨時会（抜粋） …… 8
まちづくり常任委員会（抜粋）…… 8～10
議会の動き …… 10
議員研修会 …… 10～11
編集後記 …… 11

一般質問　第４回定例会（６月20日）

2氏が質問

■無量谷　隆
■深澤　博幸

地域の課題をとらえて

無量谷　隆

・町有バス及び公用車の運行について

質問▼今年度から泊りがけの町有バス運行はしないと聞いたが、事業の推進に影響が出てくるのではないか。また、職員の公用車の運転業務への考え方と町有バスの運行について町民にどのように周知したのか。

町長▼泊りがけの町有バス運行はしないというような事実はない。町有バスの運行は、葬儀使用以外では、公務、各種団体など限定的な使用基準としており、使用は町の担当課を通じて申請をいただいている。

質問▼各種団体にその利用方法が正確に伝わっていない。今までどおり、不自由なく町民が活用できるよう推進してほしい。町有バスの運転手をどのように確保するのか。

早坂総務企画課長▼パートタイム会計年度任用職員を雇用している。

町長▼民間のバスを利用する場合に対する補助も検討していきたい。

質問▼職員が、公用車を運転し、会議等に出席する場合は負担が掛かるのではないか、労働環境を考えるべきではないか。

町長▼公共交通の利用のあり方を検討していきたい。

町有バス

深澤　博幸

・ドローンの活用について
・カラーマンホール製作事業について

質問▼今やドローンの開発や活用は目覚ましいものがある。災害、農業、林業、生態調査、イベント等様々な場面での活用を我が町でも検討すべきではないか。

町長▼防災対応や産業振興など、幅広い分野で活用されており、安全規制や社会インフラの整備、専門人材の確保や育成に課題はあるが、今後も更なる活用、普及が期待される。本町の活用状況は、委託業務発注による記録及びＰＲ映像の撮影等、今後も同様の方法により実施していく。

　防災面では、用途の緊急性や住民の安全確保の点からドローンを保有する理由になると考えられるが、導入に当たっては運用方法の整備や人材の確保、育成など課題は多く、今後は民間事業者との防災協定等による迅速な対応も視野に入れつつ検討を進めたい。

質問▼カラーマンホールの製作事業について、３種類製作とあるが、その理由と製作費１２６万円の積算根拠は。

町長▼公共下水道施設は、整備以来25年以上経過し、老朽化が進み、毎年度、下水道管路の内部を適時、改修している。今後、下水道施設の大規模改修に着手することを契機に、下水道からイメージされるアイテムの中でマンホールの蓋（ふた）を通じてシステムの存在を視覚的にアピールし、その仕組みや全体像、役割を広く啓発することにより、地域住民における環境負荷、低減意識の醸成を図る。近年、地域の特色あるマンホールが観光資源として役割を果たしていることから、地域のにぎわいや話題づくりに期待し、開始時デザインを作成した２種類に、町のマスコットキャラクターを使用した１種類を加えた３種類の作成を計画する。費用の内訳は、型枠及び製作費が61万３千円、色つき作業費用が65万２千円。直径60センチ、厚さ１・６センチ、重量は38キロ、設置場所は役場町民ホールを基本に考え、移動可能な仕様とし、下水道の役割や仕組みを示したパネルも展示する。展示期間を限定する考えはない。

質問▼今後、１２６万の費用対効果をどう図るのか。

町長▼費用対効果は難しいと思っている。蓋が耐用年数の25年を経過し、更新時期にある。今後は、企業会計に変わり、利用料金の中で収支を取る方式に代わることも、ＰＲして皆さんと一緒に考えようということ。

現在のマンホールデザイン

6月20日 第4回幌延町議会 定例会

　第４回幌延町議会定例会は６月20日（木）に開会され、２名の一般質問のほか、報告３件、議案６件、意見書１件を原案どおり可決し、同日、閉会した。

議案第２号　幌延町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

齋賀議員　現在の保育士の数は何人いて、この条例が改正されたら保育士の数は何人必要になるのか。

鈴木園長　園長含め13名。改正による影響は無い。

こども園の様子（畑への水やり）

議案第４号　工事請負契約の締結について（問寒別地区給配水管改修工事）

　工事延長３千５２０・５４メートル。橋梁添架工２箇所、道道横断工２箇所、給水管布設工４箇所。

議案第５号　令和６年度幌延町一般会計補正予算第２号

齋賀議員　幌延町は、これだけ橋も道路も維持のためにやっているのに、なぜ、補助金が減らされるのか。

角山産業建設課長　最終的には国の予算の配分なので、頂いた補助金を使って事業をやりたい。

意見案第１号　ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

報告第２号　有限会社幌延町畜産振興公社の経営状況報告について

　令和５年度の預託牛は前年度より63頭少ない６２７頭。預託牛の事故は心不全による死亡が４件、股関節脱臼による廃用が１件。

無量谷議員　今後の上幌延

団地の活用方法は。

町　長　入牧頭数の減少で一団地にするかの境目にきているので、上幌延団地の今後の利活用は検討中。

無量谷議員　農家戸数は減っているが、個人の所有頭数は多いので、年間通した預託施設のニーズはあるのでは。

町　長　冬季の預託頭数が百、二百頭では公社の経営も厳しい。預け側と農協で必要性を検討してほしい。

佐藤議員　給料が増えて賃金が減っている理由は。

新野産業建設課長補佐　臨時職員を正職員で採用した。

佐藤議員　肥料費用の削減理由は。

角山課長　肥料購入量と単価の減による。

報告第3号　株式会社幌延町トナカイ観光牧場の経営状況報告について

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、令和5年度入場者数は前年度より864人増加の46，543人。

齋賀議員　トナカイ貸し出し収益の算出方法は。

伊山産業建設課長補佐　貸し出し日数に輸送経費や条例のトナカイ使用料等を基に、町のPRも考慮して積算。

齋賀議員　ブルーポピーPR看板の取り替えが遅れている理由は。

伊山課長補佐　デザインや文言なども見直しているため。

深澤議員　入場料はずっと無料だが、公益事業として無料で良いのか。

角山課長　来客数を増やす意図で無料化し、定着しているので据え置きたい。餌などを有料化しており、入場料以外で収入を増やす努力をしたい。

5月17日 第3回幌延町議会 臨時会

第3回幌延町議会臨時会は5月17日（金）に開会され、報告1件、承認3件、同意1件、議案10件を原案どおり可決し、同日、閉会した。

承認第1号　専決処分の承認を求めることについて（令和5年度幌延町一般会計補正予算（第9号））

深澤議員　環境性能割交付金は、どのような交付金か。

渡邉総務企画課長補佐　車購入時に北海道が徴収し、北海道から市町村に交付される。

同意第1号　監査委員の選任につき同意を求めることについて

成田義弘氏（再任）

議案第2号　工事請負契約の締結について（町道幌延北進線道路改良工事）

深澤議員　予定価格は道単価での積算か。

角山課長　道単価で、発注直近の価格を反映。

議案第6号　工事請負契約の締結について（公営住宅宮園団地1号棟改修工事）

深澤議員　今後の補修工事の進め方は。

角山課長　年次計画により、宮園1号棟から全て行っていく。

議案第9号　財産の取得について（町営草地トラクター購入）

深澤議員　なぜ随意契約なのか。

角山課長　指名願いの申請が一社のみのため。

議案第10号　令和6年度幌延町一般会計補正予算（第1号）

小中一貫校整備の基本設計と給食センターエアコン設備修繕に係る予算

第4回 まちづくり常任委員会 令和6年5月14日

調査事項

(1)国保診療所所管

診療情報システム整備事業について

現在使用しているオーダリングシステムを拡張して、従来の紙カルテから電子カルテに移行する事業。

事業費　33，066千円

(2)産業建設課所管

強い農業・担い手づくり支援事業見直しについて

高騰する営農コストの緩和対策として令和4年に制度化したが依然コスト高に歯止めがかからない状況を踏まえ、補助上限額の引き上げ及び申請回数を改正し、支援範囲を拡充したい。

深澤委員　何回でも申請できるのか。

新野課長補佐　補助金の上限範囲内であれば翌年度でも上限まで受け付ける。

植村委員　4・5年に利用された方の上限はどうなる。

新野課長補佐　本事業開始まで遡って適用するので、300万使った方々は、あと200万まで受け付ける。

植村委員　必要に迫られている農家を対象に検討してほしい。

新野課長補佐　5年間事業継続してみる。農協からの要望があれば違う形になるかもしれない。

(3)住民生活課所管

地域コミニュティ形成事業進捗状況について

「NPO法人ミナといかん」の設立総会が4月16日に実施された。

深澤委員　地域住民向けの説明会に、問寒別の人は総体で何名参加したのか。

山下住民生活課長補佐　延べ100人～200人程度。

深澤委員　一回の会議で10人程度なら理解を得たという話にならないのでは。

山下課長補佐　11団体への

ヒアリング、農協青年部女性部など様々な団体に出向いて説明した。

深澤委員 これは問寒別の話で幌延町民には、ほとんど情報が入ってこない。

町長 広報紙でもこの流れは説明している。ハードルの高いＮＰＯ法人ができたことを歓迎してほしい。

(4)総務企画課所管

交流拠点基本構想策定に係る進捗状況について

現在創生会議の構成団体と懇談を進めている。５月８日までに19団体のうち10団体を終えた。20代30代の方々との懇談も進める。

齋賀委員 運営主体は誰か。

山本総務企画課参事 構想段階では決まってない。社会福祉協議会、商工会とも意見交換をしたい。

(5)教育委員会所管

幌延町小中一貫教育校基本構想等について

小中一貫校の建設工事基本設計業務の委託業者選定方法は公募型プロポーザル方式を採用。選定委員は学識経験者２名、住民代表３名、教育長、職員５名以内と考えている。基本設計委託料７千９１３万４千円。事業費は60億円超と想定している。北海道に事前確認したところ、２分の１の補助金は厳しいと回答があった。

深澤委員 改修でも60億円なのか。

伊藤教育次長 他町の例では、増改築だと新築の半分ぐらいの整備単価。

深澤委員 住民向け説明会で、反対意見があると聞いているが、その対応は。

教育長 基本設計を進めるに当たり、地域住民の意見を聞きながら、学校を造っていきたい。何回も対話を通して理解を深めたい。

第５回 まちづくり常任委員会

令和６年６月６日

調査事項

(1)総務企画課所管

防災備蓄庫整備事業について

事業費 防災用備品３１５万７千円、消耗品12万４千円

設置場所 役場庁舎北側の車庫の隣接地

事業内容 延長６．１ｍ、幅２．４ｍ、高さ２．６ｍの海上コンテナ

西澤委員 今後、増やす想定は。その場合の設置場所は。

早坂課長 体育館や学習センター等に防災備蓄庫を設置する考えもある。

(2)保健福祉課所管

社会福祉法人幌延福祉会特別養護老人ホームこざくら荘における職員等の処遇改善加算について

国が処遇改善加算を手当として支給し、それにより人材を確保し、現場で働く職員の離職を防ぐのが目的。

西澤委員 加算分は、町が補填しなければならないのか。

島田課長 町が補填しなければならない。

高橋秀之委員長 こざくら荘への補助金が増え続け、施設側も改善・努力していると言っているが、必要な施設であり、今後も継続して支援していかなければならないと考えるが、法人はどのように考えているのか。

島田課長 経営改善は過去にも種々検討されている。町補助金の減額は、現状、難しい。担当課としては、こざくら荘の利用が少なくなると、町からの赤字補填が増えるということになる。利用料金の見直しなど、検討しなければならない。

(3)住民生活課所管

地域コミュニティ形成事業関連予算案について

深澤委員 ６月下旬に法人化の認可がおりるという説明があったが、予算案だけ計上され、認可されなかった場合、どうするのか。

山下課長補佐 ７月末までに、その可否が判断される。法律に沿って規約等が整備されているか形式的な審査なので、不認証はないと考えている。

深澤委員 予算案は、町頼りの予算案。収入源は草刈や地域デマンド交通とあるが、草刈、除雪、公共施設の管理などは、今までは民間業者に委託されていた。以前の委託業者が納得してこの事業計画なのか。

山下課長補佐 地域の事業者がサービスとして提供できていた部分ができなくなっている現状があり、地域でできることは地域の事業者というのが基本的なスタンス。できない部分をフォローするのが、このＮＰＯ法人のコンセプトの一つ。

深澤議員 町の予算案は４７４万８千円だが、この法人の総事業費はいくらか。

山下課長補佐 ４７４万円は運営費の補助で、ほか、会費や寄附金などの自主財源もある。

深澤議員 自主財源を含めた事業費の総額は。

山下課長補佐 ＮＰＯ法人の認証申請の活動予算では、

一千万円の計上であった。

深澤委員 この事業への地域おこし協力隊の募集は。

山下課長補佐 5月20日付けで協力隊として任用した。在職の協力隊員を含めて2名で活動している。最終的に3名体制としたので、もう1名の確保を進めている。

植村委員 法人に対する国からの補助金は。

山下課長補佐 国からの補助金はないが、高齢者見守り活動を行った場合、特別交付税措置はされる。

植村委員 協力隊員が活動する事務所などを民間に委託してきたが、新しい事務所を拠点とする考え方か。

山下課長補佐 旧事務所は諸手続きを踏み、6月末で契約満了し、7月以降、新しい事務所での活動を想定。

⑷教育委員会所管

幌延中学校区小中一貫教育の進捗状況について

深澤委員 プロポーザル選定委員の学識経験者2名の年齢は。委員に女性が1名も入っていないが。

伊藤教育次長 2名とも昭和42年生まれ。委員の性別は特段考慮していない。

無量谷議員 委員選定にあたり、PTA役員の扱いは。

伊藤教育次長 基本設計を作る業者を書類選考するセクションなので、業者を選定するという視点で選んでいる。

齋賀委員 技術提案書の提案者に対し、技術提案書を特定した上で通知を行うということは、ここで決まったから随意契約を締結するということか。また、選定委員は、高度な技術力、又は経験を必要とする業務に適当と認められる者を選定し、必要な事務手続を行うということになるが、金額が高い業者が選ばれる場合もあるのか。

伊藤次長 金額も考慮するべきではあるが、点数付けの中に、金額が見えてこないので、実施要領で勘案していければと考えている。

議会の動き

4月3日▶議会報発行編集委員会
5月14日▶第4回まちづくり常任委員会
5月17日▶第3回幌延町議会臨時会
5月20日～5月22日▶令和6年度町村議会議長・副議長研修会（齋賀副議長出席）
5月23日～5月24日▶宗谷管内町村議会議員研修会（全議員出席）
5月28日▶北留萌消防組合議会臨時会（無量谷議員出席）
6月6日▶第5回まちづくり常任委員会
6月6日▶第3回全員協議会
6月6日▶第2回議会運営委員会
6月14日▶西天北五町衛生施設組合議会（深澤、高橋秀之議員出席）
6月20日▶第4回幌延町議会定例会
6月20日▶第6回まちづくり常任委員会
7月2日～7月3日▶令和6年度北海道町村議会議員研修会（西澤議長他5名出席）
7月10日▶議会報発行編集委員会

宗谷管内町村議員研修会 令和6年5月23日

宗谷管内町村議員研修会が利尻町交流促進施設『どんと』で開催された。

研修会は、道議会事務局の加藤隆行課長補佐を講師に『北海道議会におけるデジタル化の取り組みについて』と題し、タブレット端末機による議会審議の充実・効率化や会議資料のペーパーレス化などの反面、端末機の重さによる持ち歩きの負担や議員によっては、

管内議員研修

北海道町村議会議員研修会
令和6年7月2～3日

令和6年度の研修会が、札幌コンベンションセンターで開催され、全道の町村議会議員が一堂に会して、二人の講師に講話をしていただいた。

議員のスキルアップや地域の発展に寄与するための議員活動・取り組みなどを学ぶために、本町から6名の議員が参加した。

一人目の講師、気象予報士の森朗氏は、『札幌が東京より暑くなる～加速する気候変動』と題して、地球温暖化の影響により、近年、日本の平均気温が上昇している中、北海道の平均気温上昇率は更に高く、このままの上昇率では東京並みの平均気温になる可能性もあるという内容であった。

続いて、二人目の講師、元衆議院議長の大島理森氏は、『人口減少と市町村の重要性・民主主義について～自省を含めての所管』と題し、県議会議員、衆議院議員時代の様々な活動をもとに、議員の責務など、ご講演をいただいた。

大島元議長が『これからの議会議員は、率先して他の自治体議員と連携協力して地域の課題を解決していくことが重要』と強調していたことが印象に残った。

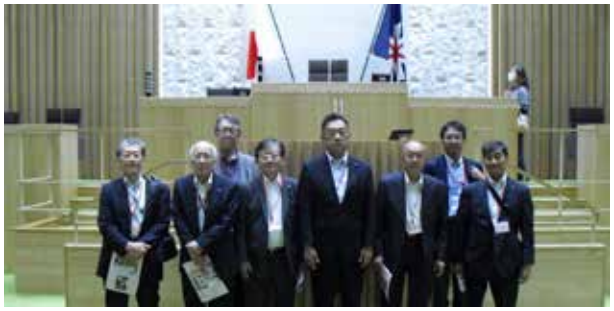
研修二日目には、三好北海道議会議員の案内により、令和2年2月に完成した道議会を視察した。当日開催の特別委員会を傍聴したほか、議事堂や各会議室などを見学した。

毎週月曜日と木曜日の午前10時に見学会が実施されているので、機会があれば、見学されてはいかがですか。

端末機の取り扱いに抵抗があるなどのお話を伺った。

講演終了後に視察したウイスキー蒸留所では幌延産ミズナラ樽も使われていた。

視察終了後は研修会場『どんと』にて交流会が開催され、議員相互の交流を深めるとともに、今後の議員活動に資するため、各自、情報交換などを行った。


北海道議会議事堂にて

9月定例会を傍聴しませんか！

議会は町のさまざまな課題について話し合う大切な会議の場です。

9月の定例会（9月 17 日から開催）は主に決算について審議が行われます。

今幌延町でどのような議論が行われているか、ぜひ、皆さんも傍聴にお越しください。

編集後記

いつも「ほろのべ議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。

第134号です。平成10年に創刊号が発行されて以来25年目になります。今日まで編集発行に携わった職員そして広報委員に感謝しています。意見要望やご指摘をして頂いた町民の皆様のことも忘れてはいけません。

その長い月日の中で、今年の夏ほど悪天候に悩まされた年はありません。洗濯物や布団を何回外に干す事ができたでしょうか。基幹産業の酪農はというと、暗渠を入れて更新した畑にも、雨水が溜まり、草地が乾かず、収穫作業が遅れる、栄養価も下がるという悪循環。

この広報がお手元に届く9月は、秋晴れが長く続き、町民皆さんが太陽の下ニコニコ元気にして過ごされている事を願います。

議会報発行編集委員
委員長　深澤博幸
副委員長　佐藤忠志
委員　高橋秀之
委員　齋賀弘孝

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター

「地下の研究現場から」第51回－幌延国際共同プロジェクト(HIP)－合同タスク会合in幌延

モグ太くん

私たちの行っている研究について、広くご理解いただくために幌延町広報誌「ほろのべの窓」の誌面をお借りして町民の皆さまをはじめ、ご愛読者さまに研究内容についてご紹介させていただきます。

幌延深地層研究センターでは、令和５年２月、幌延国際共同プロジェクト（HIP）を立ち上げました。HIPは、地下施設を利用した研究開発を国内外の機関で協力して推進することで、日本のみならず参加国における先進的な安全評価技術や工学技術に係る成果を最大化することを目的としており、日本をはじめドイツ、英国、オーストラリア、台湾、韓国、ルーマニア、ブルガリアから、11の機関が参加しています。研究内容として、国際的に関心の高い以下の３つのタスクを設定しています。

タスクA：物質移行試験

放射性物質を模擬した物質を地層の割れ目に流し込み、三次元的に物質が移動する経路を適切に再現する解析手法を開発。

タスクB：処分技術の実証と体系化

これまでの研究成果をもとに、深度500mで想定される掘削時の湧水量や割れ目の分布などを予測。掘削後の結果と照らし合わせることで、掘削前に適切に処分孔を配置する方法論を確立。

タスクC：実規模の人工バリアシステム解体試験

深度350mの調査坑道に平成26年に設置した実規模の人工バリアを取り出し、緩衝材への地下水の浸透や金属製のオーバーパックの劣化などを分析するとともに、人工バリア周辺の複雑な挙動を適切に再現できる解析手法を開発。

令和６年６月５日～７日に、各参加機関の研究者が幌延深地層研究センターに集い、実際の地下施設で行われている試験の状況を確認しながら、今後の研究実施方針等について議論する合同タスク会合を行いました（写真）。今後も試験状況などを確認しながら議論する機会を多く設けることで、参加機関同士の交流を深めながら効率的に研究を進めていきます。また、得られた成果は国内外の学会や論文誌等に積極的に発表していきます。

写真　合同タスク会合の様子

参加者集合写真

地下施設での現場確認の様子

お問い合わせ先　国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
幌延深地層研究センター：電話・告知端末機　5-2022　https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/
ゆめ地創館：電話・告知端末機　5-2772　https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/yumechisoukan/index.html

広報・調査等交付金事業

交通安全指導員を募集しています

町では、交通安全指導員として、町の交通安全のために力になっていただける方を募集しています。

交通安全指導員として活動するにあたり、専門的な知識は不要です。（採用後に各種研修会を受講。）お仕事をされている方や主婦の方なども、それぞれの事情に応じて可能な範囲で各種活動に参加していただけます。

■募集人員 … 幌延地区　２人（年齢・性別不問）

■募集資格 … 次のすべてに該当
①普通自動車運転免許証を保有している
②人格円満で健康である
③ボランティア精神がある

■活動内容 … 町や警察機関などと緊密な連携を図り、交通の安全指導や交通秩序の保持及び交通事故防止のための啓発を行っています。
・各期交通安全運動への参加・協力
春（４月）夏（７月）秋（９月）冬（１１月）
朝の街頭指導、パトライト作戦
・イベント等の歩行者安全確保・交通指導
神社祭（神輿渡御）、名林公園まつり、マラソン大会　など
・研修会への参加

■報酬など … 年間 78,000 円（月額 6,500 円）の報酬のほか、費用弁償等をお支払いします。
制服は貸与します。

■そ の 他 … 指導員相互の親睦と活動連携のため、幌延町交通安全指導員会に所属していただいています。（会費（年額 16,800 円）を徴収）

■応募方法 … 住民生活課生活環境係へ履歴書を提出して下さい。
後日、面接の日程を連絡します。

■応募期限 … 令和６年９月 30 日（月）まで【郵送可（必着）】
※募集人数に達していない場合には、上記期限以降も継続して募集を行います。
詳しくは住民生活課生活環境係にお問い合わせください。

お問い合わせ先：住民生活課 生活環境係　電話：５-1112　告知端末：５-8812

「認知症の理解と予防」講演会を開催します

認知症の予防には発症を遅らせる「一次予防」、発症後も進行を遅らせる「二次予防」、進行した後も合併症を防いだり日常生活が維持できる「三次予防」があります。

認知症を正しく理解して今できることに取り組み、自分らしい生活を実現しましょう。

★日　程：令和６年10月16日（水）

受付）13時15分～ 13時30分
講演）13時30分～ 14時50分
認知機能検査）14時50分～ 15時00分
介護予防・認知症予防体操）15時00分～ 15時20分

★講演内容：「認知症の理解と予防」

★講師：小樽商科大学特任名誉教授　相内　俊一　氏

★会　場：幌延深地層研究センター 国際交流施設 多目的ホール

★申込み期限：10月11日（金）

★申込み・お問い合わせ先：地域包括支援センター
電話番号：５-1790（担当：山本・千葉）

共催　生活協同組合コープさっぽろ・幌延町・NPOソーシャルビジネス推進センターコープ共済連合会

ほろのべ　とっておきの野鳥塾を開催します

たくさんの野鳥が生息する幌延町の皆さまに野鳥の魅力を知っていただき、野鳥を守りたいと思うやさしい気持ちを醸成しながら、チュウヒの希少性や保護活動の大切さを知ってもらいます。

日時：９月 22 日（日）１４時～１６時
場所：幌延深地層研究センター
　　国際交流施設 多目的ホール
内容：・鳥って何？ー野鳥おもしろ話ー
　　・サロベツ原野の野鳥（仮）
　　・草原のタカ・チュウヒとは？
　　・ほろのべ野鳥なんでも相談会
参加料：無料
申込み：不要（定員 220 名・先着順）

主催：公益財団法人 日本野鳥の会
後援：幌延町教育委員会・幌延町産業建設課

お問い合わせ先：公益財団法人 日本野鳥の会 自然保護室　電話：03-5436-2633

全道大会に出場してきました!

７月26日（金）～７月31日（水）に札幌市つどーむにて開催された「第53回全道少年軟式野球大会」に名寄支部大会で14年ぶりに優勝し、全道大会への切符を勝ち取った中川・美深野球スポーツ少年団に所属する加藤 琉世（りゅうせい）さん（問寒別小学校６年）と加藤 悠玖（ひさき）さん（問寒別小学校４年）が出場しました。大会１日目に函館支部代表の長万部ソウルズと対戦し、健闘しましたが１回戦敗退となりました。

全道大会出場の経験を活かし、今後の更なる活躍を期待しています！

地域おこし協力隊 通信 VOL.104

トナカイ飼育員　**成田　詩織隊員**

皆さまこんにちは。トナカイ飼育員の成田です。

地域おこし協力隊に着任してから早くも１カ月以上が過ぎ、幌延町での暮らしにも馴染んできました。

牧場では、滝汗を流しながら、日々奮闘中です！

さて、今年は８頭のかわいい赤ちゃんが誕生し、７月にはお披露目会を開催しました。

悪天候だったのですが、たくさんのお客様にご来場いただきました。今ではお披露目会の時よりも、ひと回り、ふた回りと大きく成長し、角もピコっとでてきました。これからの成長が楽しみです。

一方、１日中外で暮らすオスたちは、アブの猛攻撃と暑さにやられ、毎日大変です。

大きなふわふわの角は、これからだんだんと皮が剥けていき、硬い角が完成します。赤ちゃんたちもかわいいですが、発情期の秋はオストナカイの雰囲気や表情の変化も見どころです。

また、トナカイ観光牧場の公式Instagramの投稿も積極的に行っています。日々のトナカイの様子や、外からは見られない飼育員目線の動画など発信していますので、ぜひご覧いただけると嬉しいです。

牧場に遊びに来られた際に飼育員を見かけましたら、お気軽にお声掛けください！

@HORONOBE_TONAKAI_FARM

おもしろ科学館に参加した、ロクちゃん

インフォメーション

９～11月の運転免許更新時講習のお知らせ

開催月日	開催場所	初回更新者講習(２時間)	優良運転者講習(30分)	一般運転者講習(１時間)	違反運転者講習(２時間)
９月３日（火）	天塩町社会福祉会館	10:00～	13:00～	13:45～	15:00～
９月４日（水）	幌延町消防署二階		18:30～		
10月５日（土）	豊富町定住支援センター「ふらっときた」		13:00～	14:00～	15:30～
10月８日（火）	天塩町社会福祉会館		13:00～		
10月12日（土）	遠別町生涯学習センター「マナピィ21」		13:00～		
11月５日（火）	天塩町社会福祉会館	10:00～	13:00～	13:45～	15:00～

天塩川の川辺に流れ着いた流木の無料配布を行います

【配布期間】

令和６年９月２日（月）～令和６年９月３０日（月）

※用意した流木が無くなり次第、終了とさせていただきます。

【配布場所】

幌延町字上幌延（幌延河川水防ヘリポート横）

【無料配布の注意事項】

・配布する流木の長さは、120㎝程度です。

※軽トラックの荷台長さ程度

・利用については、私的利用に限ります。

・大型車両はご遠慮願います。

・事故や怪我については、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

お問い合わせ先:留萌開発建設部 幌延河川事務所 河川課　電話番号:01632-5-1231

道税及び市町村税に係る全道統一的な滞納整理を実施します

道と市町村は、道税及び市町村税の収入確保を図るため、9月に個人住民税を含む市町村税の滞納事案について、差押予告や財産調査を実施し、各種財産の差押えなど、滞納処分を強化します。

納税がお済みでない方は、早急に納税されますようお願いします。

【道税に関すること】　〒097-8558 稚内市末広4丁目2−27
北海道宗谷総合振興局 税務課　電話:(0162)33−2519
【町税に関すること】　幌延町役場　住民生活課 税務住民係　電話:5-1112

令和７年度　訓練生の募集について

北海道障害者職業能力開発校では、令和７年度の訓練生を募集します。

「対象者」
障がいをお持ちの求職者
「訓練科目」
建築デザイン科、CAD機械科、総合ビジネス科、プログラム設計科、総合実務科
「募集期間」
令和６年10月１日（火）～10月21日（月）
「選考試験日」
令和６年11月５日（火）

詳しくは、北海道障害者職業能力開発校又は最寄りの公共職業安定所までお問い合わせ下さい。
なお、入校案内などのパンフレットについては、役場保健福祉課社会福祉係窓口に配置しておりますので、お気軽にお越し下さい。

お問い合わせ先:北海道障害者職業能力開発校　電話:0125-52-2774

公証週間のお知らせ

10月１日（火）から10月７日（月）までは公証週間です。
公証人は、公証役場において遺言や大切な契約などの公証証書の作成、会社を設立する際の定款認証などを行っています。
公証人は、法務大臣によって任命される公務員です。

「遺言は、公証証書で作成してみませんか？」

遺言者の家族関係にふさわしい形で財産を継承させるには、遺言をしておくことが一番です。遺産争いを予防し、紛失の心配もないので、後に残された方々が困りません。原本は公証役場で保存していますので、偽造・変造の心配もありません。
また公証人が自宅や病院（施設）へ出向いて遺言書を作成することもできます。
公証制度の詳細については、公証役場または法務局にお問い合わせください。

お問い合わせ先:旭川公証人合同役場　電話番号:0166-23-0098
名寄公証役場　電話番号:01654-3-3131
旭川地方法務局　電話番号:0166-38-1144

7月20日(土)
7月21日(日)

おもしろ科学館2024 in ほろのべ

見て、触れて、楽しく体験しながら科学技術やエネルギーの大切さを学ぶことができる「おもしろ科学館2024inほろのべ」が行われ、延べ5,600人が訪れました。会場の総合体育館とゆめ地創館にはロボットの操縦や岩石標本づくりなど様々なコンテンツが並びました。また、屋外ステージでのキャラクターショーや、ビアガーデン、カラオケ大会も行われ、夏の思い出を作りました。

▶おもしろ科学館2024 in ほろのべの様子

▶屋外キャラクターショー

7月29日(月)
7月30日(火)

問寒別の7月の夜を楽しむ会
問寒別神社祭　本祭

7月29日に問寒別生涯学習センターにて「問寒別の7月の夜を楽しむ会」が町内の有志の方々により行われました。縁日コーナーや大声大会、抽選会などを催し、問寒別の7月の夜を楽しみました。

30日には問寒別神社祭本祭が行われ、神輿渡御や園児・児童によるよさこい、サロベツ太鼓保存会の演奏で盛り上げました。

▶問寒別の7月の夜を楽しむ会

▶問寒別神社祭　本祭

8月1日(木)

第51回幌延町乳牛共進会

幌延町と幌延町農業協同組合の共催による「第51回幌延町乳牛共進会」が幌延町産業共進会場にて開催され、酪農家自慢の牛が勢ぞろいしました。体形や資質の改良水準などを審査の結果、未経産牛は、板垣祐太さんの出品牛が、経産牛は、無量谷勉さんの出品牛がそれぞれ最高位に選出されました。

▶未経産牛の部

▶経産牛の部

8月7日(水)

第5回まちいちカフェ「まちいち縁日」

昨年に引き続き、放課後児童クラブの子ども達を招待し、「まちいち縁日」が行われました。様々な出店を通じて子ども達とふれあい、賑やかなひと時を過ごしました。

また、中学生3名も出店に参加。高齢者と一緒に盛り上げ、おしゃべりなどの交流も楽しめた縁日となりました。

▶射的を楽しむ児童クラブの子どもたち

▶参加者と放課後児童クラブの子どもたちによる集合写真

8月7日(水)

子ども会交通安全七夕パレード

子ども会育成連絡協議会が主催する「七夕まつり交通安全パレード」が行われました。思い思いに飾り付けを施した山車を引き、音楽に合わせて交通安全を呼びかけながら幌延市街を練り歩きました。パレード終了後には、共進会場にて花火が打ち上げられ、夜空に上がった花火を見て楽しんでいました。

▶交通安全七夕パレード

▶夜空に打ち上げられた花火

8月17日(土)

2024 問寒別地区納涼盆踊り大会

問寒別町民会館前の広場にて「問寒別地区納涼盆踊り大会」が行われました。会場では、盆踊りの他に、斉藤商店による出店、花火大会、じゃんけん大会や抽選会などの催しで問寒別の夏の夜を楽しみました。

▶仮装盆踊り大会

▶じゃんけん大会

年金生活者支援給付金制度について

◇ 年金生活者支援給付金とは

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

給付金を受け取るには、年金生活者支援給付金請求書の提出が必要です。

◇ 対象となる方

■ 老齢基礎年金を受給している場合

次の支給要件を全て満たす方です。

- 65 歳以上
- 世帯全員が市町村民税非課税
- 前年の公的年金等の収入金額※1とその他の所得の合計額が 878,900 円以下

■ 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している場合

次の支給要件を満たす方です。

- 前年の所得※1が 4,721,000※2円以下

※１：障害年金・遺族年金などの非課税収入は含まれません。

※２：扶養親族などの数に応じて増額します。

◇ すでに年金を受給しており新たに年金生活者支援給付金の対象となる方

老齢・障害・遺族基礎年金を受給している方で、令和６年度において、所得額が前年より低下したこと等により、新たに年金生活者支援給付金の支給対象となる方には、令和６年９月頃から順次、日本年金機構から簡易な年金生活者支援給付金請求書（はがき型）が送付される予定です。

※ すでに年金生活者支援給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です。

※ 原則、お手続きいただいた翌月分から支給の対象となりますので、速やかな請求手続きをお願いします。

◇ 新たに各種基礎年金の請求をする方

年金生活者支援給付金請求書を提出していただく必要があります。

障害基礎年金・遺族基礎年金の場合は年金を請求する際にあわせてお手続きください。

65歳になるときの老齢基礎年金の場合は、誕生日の３か月ほど前に基礎年金の請求書と一緒に支援給付金の請求書も同封されて送られてきます。

稚内年金事務所または役場住民生活課 税務住民係でお手続きください。（いずれの提出先も郵送にて提出することが可能です。）

年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときは、お電話ください

給付金専用ダイヤル：**０５７０-０５-４０９２**（ナビダイヤル）

受付時間

月　　曜　　日：午前８時３０分から午後７時

火曜日から金曜日：午前８時３０分から午後５時１５分

第　２　土　曜　日：午前９時３０分から午後４時

※ 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後７時まで相談が可能です。

※ 祝日（第２土曜日を除く）、12 月 29 日から１月３日はご利用いただけません。

お問い合わせの際は、基礎年金番号がわかるものをご用意ください。

なお、番号のおかけ間違いが多いようですので、確認の上、おかけくださるようよろしくお願いします。

より、詳細な内容につきましては、日本年金機構または厚生労働省のＨＰから確認できます。

日本年金機構
(https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/sonota-kyufu/shienkyufukin/20190805.html)

厚生労働省
(https://www.mhlw.go.jp/nenkinkyuufukin/index.html)

お問い合わせ先：稚内年金事務所　電話:0162-33-7011
住民生活課 税務住民係　電話：５-1112　告知端末機：５-8812

9月 町民くらしのカレンダー

期日		行事	時間	場所
1	日			
2	月			
3	火	子宮がん・乳がん検診（予約制）	8:30～	保健センター
4	水	まちいちカフェ 親子リズム体操遊び 診療内科・精神科	9:45～ 10:30～11:30	保健センター 子育て支援センター 国保診療所
5	木	はつらつ教室	9:45～	保健センター
6	金	にこにこ教室 わくわくひろば	9:30～ 10:30～11:30	保健センター 子育て支援センター
7	土	第50回ほろのべトナカイマラソン大会	8:30～12:00	スポーツ公園⇔上幌延
8	日	幌延中学校吹奏楽部定期演奏会	13:30～	国際交流施設 多目的ホール
9	月	出張ひろば	10:00～11:00	問寒別へき地保育所
10	火	もぐもぐスクール 読み聞かせ 運動教室Re:Body	10:00～ 11:00～11:30 19:00～	保健センター 幌延町生涯学習センター 保健センター
11	水	まちいちカフェ	9:30～	保健センター
12	木	子どもの集い 「ルミエールコンサート」 すくすく健診	10:30～11:45 13:00～	幌延小学校体育館 保健センター
13	金	問寒別出張診療		問寒別国保診療所
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	運動教室Re:Body	19:00～	保健センター
18	水	診療内科・精神科		国保診療所
19	木	はつらつ教室 生きがい教室「町内視察研修」	9:45～ 13:30～	保健センター
20	金	まちいちカフェ わくわくひろば 福寿会健康相談 幌延町民プール クローズ	9:45～ 10:30～11:30 13:30～	保健センター 子育て支援センター 老人福祉センター
21	土			
22	日	ほろのべ とっておき野鳥塾	14:00～16:00	国際交流施設 多目的ホール
23	月			
24	火	運動教室Re:Body	19:00～	保健センター
25	水	問寒別にこにこ教室 親子サロン	10:00～ 10:30～11:30	問寒別生涯学習センター 子育て支援センター
26	木	すまいるママ	11:00～	保健センター
27	金			
28	土	ソフトエアロビクス 町民文化祭	10:00～11:30 14:00～18:00	幌延町総合体育館 国際交流施設 幌延町生涯学習センター
29	日	町民文化祭 問寒別地区町内会対抗ソフトボール大会 幌延中学校祭	10:00～15:00 10：00～ 9:30～12:00	国際交流施設 幌延町生涯学習センター 問寒別小中学校グラウンド 幌延中学校
30	月	すきっぷくらぶ	10:00～11:00	子育て支援センター

※　子育て支援の事業については告知端末機でご案内します。随時ご確認ください。

ご寄付ありがとうございます 7・8月

◇幌延町社会福祉協議会へ（香典返しの一部）

佐藤　晃子さん（夫）字問寒別
古草　洋子さん（夫）字幌延
齋賀　フク子さん（夫）字問寒別

戸籍の窓 6・7月

■お悔み申し上げます

佐藤　鉄夫さん（77歳）字問寒別
千葉　功さん（97歳）1条北2
古草　春雄さん（78歳）1条北2
齋賀　一一さん（88歳）字問寒別

ほろのべの裏窓

■7月・8月はイベントが盛りだくさんでしたね。今月号の裏窓では、7月27日（土）に開催されたビールまつりの様子を掲載させていただきます。外で飲むお酒は一段と美味しく感じます！皆さん幌延の夏は楽しめましたか？

■さて、幌延の夏もいよいよ終わりを告げ、季節は秋へと移り変わろうとしています。季節の変わり目は体調を崩しやすいため、体調管理に十分注意して過ごしてくださいね。それではまた来月号でお会いしましょう！

七月定例俳句会作品　幌延ほおずき俳句会

さくらんぼ幼児の頬と艶競う　横山　貞雄

甲高き声に囲まれさくらんぼ　小玉　利治

亡き夫の友から来たるさくらんぼ　富樫とも子

別々の夢みて老いてさくらんぼ　田中　徹男

まちのうごき

令和6年7月末日現在　※（ ）内は前月比

人口		
	男	1,065 (-4)
	女	987 (3)
	合計	2,052 (-1)
世帯数		1,190 世帯(2)

広報へのご意見、ご要望をお寄せください
総務企画課 企画振興係
電話 5—1114／告知端末機 5—8814

広報ほろのべの窓 9月号
令和6年 9月
発行／幌延町
■企画・編集／総務企画課 企画振興係　■印刷／株式会社須田製版
■幌延町ホームページアドレス／ https://www.town.horonobe.lg.jp

UD FONT この広報誌は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。